

久米島デジタルヘルスプロジェクト—プレス会見報告—

琉球大学医学部と久米島町や製薬会社、情報・通信医療機器関連企業などによる「久米島デジタルヘルスプロジェクト」会見が2017年7月31日に本学で開かれました。

本プロジェクトの実施地となる久米島では、糖尿病や肥満症が深刻な健康課題となっています。「久米島デジタルヘルスプロジェクト」は、これらの問題を最新の医学解析技術により、久米島町民の遺伝子情報や生活環境、行動などを調査・分析し、生活習慣予防や改善を目指す社会実証試験です。

本プロジェクトは2019年までとし、個人内、集団内の経時的で大規模なデジタル・バイオデータ（ビックデータ）の解析により、超早期の病態予測マーカーの発見や新たなデジタルデバイスの開発につなげ、久米島に新たな健康ブランドを樹立し、人口の維持増進や経済振興に結び付けることを目標としています。

会見に出席した益崎教授は、「学童期から健康で楽しく住める久米島として、地域の活性化にもつながる。」と期待し、「沖縄の健康長寿を取り戻すことが琉球大学の使命。今までに無かった画期的な成果を出したい。」と意気込みを述べました。今後は、国内外にシステムのノウハウを発信するなどの検討しています。



挨拶を行う石田肇学部長



会見の様子



プロジェクトの概要を説明する益崎裕章教授（左）、宮里実准教授（右）

